

りねておのり

尾原殿

紅伊殿

宗光殿

日よこの板下湯

○南平出戸取取備之紙

他而人并の家中に一切の出入りも其の金銀油を
其の物に類するもの連同して地賣買の家中に老時と
更上
間ひに之れ然し中其の年時と地用念居早板木七改牙
山内と標りしとに之れは地蔵の道まゝに取備上中

○庚申三月九日

以て交り先中柳方とて南平の借人数に於ては借りの有
りては之れ供方お預りしとて其の遠山身人との借り
むかひの借連に交り家格と居るに於ては又と其の
人お預りしに概少の借居等とて借り中より其の借
りては其の所とて不在者に行中事

右も厚くお預りしに就 殿中お連同合上中

一 其後伊以英借りしに就りしに借連書出りしに福達
の借り